

## モクズガニ

本種のはさみには、長い毛がたくさん生え、その様子が「藻屑（もくず）」に見えるため、モクズガニと呼ばれています。

近い仲間には高級食材で有名な「上海ガニ（チュウゴクモクズガニ）」がいて、本種も同様に食用にされます。寄生虫がいる可能性があるため、しっかり加熱する必要があります。

甲羅（こうら）の幅は8 cm程度まで成長し、緑色を帯びた褐色です。

主に河川の下流域から中流域に生息し、石の下などに隠れています。

雑食性で、水草、水生昆虫、魚類の死体などを食べます。

繁殖期の冬になると、メスは河口近くまで降り産卵します。孵化（ふか）した幼生は、汽水域（きすいいき）や海域で変態するまで生活し、その後河川を遡上（そじょう）します。



### 富士市での現状

市内全域の河川における下流域から中流域で確認されました。

モクズガニを確認したメッシュ

